

いずみ通信

～養泉寺寺報 Vol.2～



お寺で食べるスイカ最高！！（2018年8月10日）

ピックアップレポート ～ようせんじ 夏のこども会～

今、伝えなければいけない

養泉寺では、2011年から夏にこども会を行っています。最初は大型紙芝居やゲームが中心でしたが、徐々に肝だめしをメインとした内容となりました。今年は、またさらに何か新しいことをしてみようかと検討中です。

「8月なのに、お金もかかるのに、こども会をするのは大変でしょう！」と言われたことがあります。確かにやらない方が楽でしょう。しかし、今こどもたちに伝えなければいけないことがあります。いのちの大切さについて考

えること。物を大切にする心を育むこと。生きてるって不思議だということ。学校や塾では教わらないこと、スマホやタブレットには映っていないこと。お寺がこどもたちと一緒に何が出来るのか？何をしていけばいいのか？今日も養泉寺は模索し続けています。

こどもたちの置かれた社会

現代は極端な競争社会です。こどもたちであっても小さい頃からその波に乗せられ、教えられ、その中で生きていくことを余儀なくされます。そしていい学校、いい大学、いい仕事に向かって、他を蹴落としてでも勝つことを求められます。「こどもには、私と同じような

苦勞をさせたくない。」「そういう時代だ。」と親は言います。ごもっともな考え方であると思います。しかし一方で、そのことだけがこどもの人生にとっての正解であるという大人の決めつけが、こどもの生き生きと生きる意欲を奪い兼ねない、という危険性があります。周りのこどもたちは幸せそうな顔をしていますか？日々のニュースが報じるこどもたちや若者の様子はどうですか？こどもは答えを与えられることだけではなく、問いを持ち続けることで人生を深めていきます。「なぜ？」「どうして？」というこどもの純粋な問いに耳を澄ませ一緒に考えていく場所が、こどもたちにとって絶対に必要な「居場所」ではないかと思えますし、お寺ではないかと考えています。

負けて知ることができた

先日テレビを観ていたら、レスリングの吉田沙保里選手の引退会見の様子が報じられていました。長年に亘って日本のレスリング界を牽引してきた吉田選手の引退には、誰もが「お疲れ様、ありがとう」の気持ちを抱いたことでしょう。

その会見の中で、吉田選手が「最も印象に残ったメダルは？」という問いに、「リオデジャネイロオリンピックの銀メダルです。」と答えておられました。関係者は、「意外だった。なぜ金メダルではないのか？」と不思議そうでしたが、その内容は、「負けて初めて、負ける側の気持ちを知った。皆こんなに悔しい思いをしてきたんだと。同時に、そういう仲間のお陰で私はここまでやってこれたんだと思った。だから一番印象に残っているメダルはこの銀

メダルです。」ということでした。どこまでも勝ちにこだわり努力を続けてきたであろう選手だからこそ、負けることの悔しさが大きかったのでしょうか。しかしその負けが自分を大きく成長させてくれたのだ、と語っておられました。

勝つことは素晴らしいことですが、負けることも尊いことです。それはこどもたちにとっても同じです。この先、勝つことも負けることも、楽しいことも辛いこともたくさんあるでしょう。こどもたちに伝えたいのは、それでもあなたは大切な一人であるという事実です。

これからのようせんじこども会

養泉寺では、こども会を毎年1回、8月に行っていますが、これからはもっと日常的に、小規模に、気軽に集えるこども会を展開していきたいと考えています。

同世代、また地域の方々に呼びかけながら、お寺で出来るこども会の可能性を広げたいです。こどもを含めた若い世代へはたらきかけることは、お寺が果たす役割としてかなり重要なものです。あなたも一緒にこどもを連れて、また仲間として、協力してくれませんか？



最近はこんなことがありました！



オリジナルうちわを作った、2015年



まりんが遊びに来た、2016年



夜のシャボン玉で遊んだ、2017年

KOTONOHA



養泉寺の掲示板の言葉（8月から2月まで）

- 8月 「聞法は死の準備ではなく
生の糧である」
- 9月 「人生曇りの日も必要」
- 10月 「これから失くす宝物が
くれたものが今宝物」
- 11月 「祖父もお腹の中にいたの？」
- 12月 「忙しいということは
怠けている証拠です」
- 1月 「耳二つに口一つ
多く聞いて少し言う」
- 2月 「解答用紙はあなたの
これからの人生」

毎月の掲示板の言葉から、仏教の教えに触れてほしいと願いつつ書いています。二回目の今回は、「忙しいということは怠けている証拠です」という言葉です。

この言葉は、安田理深という先生が仰った言葉です。「忙しいほどに頑張っているのに、なぜ怠けているの？」と思う方もいるでしょう。忙しいことは有り難いことです。やりがいや充実感もあるでしょう。また、収入や評価につながったり、それが生きがいだという方もおられたりするでしょう。私も、この言葉に初めて触れた時は反発心を覚え、意味もよく分かりませんでした。

これは、「忙しくすることは駄目なのだから仕

事をやめましょう」というような話ではありません。人間として生まれさせてもらっておきながら、生きる意味を問わぬ私たちの心の姿勢を、鋭く指摘している言葉です。

「忙しい」という言葉には、「気がせて心が落ち着かない」という意味があります。しかしその「忙しさ」を、「人生における充実感」と捉えている方が、現代には多いようです。

「忙しい」とは「心を亡くす」と書きます。無くしたものは見つかることがあります。亡くしたものはもう見つかりません。忙しいと呟く背景には、自分の人生を見失って生きているという事実があります。

また、「怠ける」という言葉は、「怠る（おこたる）」とも読みます。日々の生活が忙しいから生きる意味を考えるなどという暇はない、だから「怠る」のではありません。

生きる意味を問うという人間としてやらなければならない仕事を「怠る」から、日々の生活が忙しい、つまり心の落ち着きがないのです。

ある先生が仰っていました。「本当に忙しい人は、決して忙しさを言い訳にはしない。実は暇な人ほど、忙しさを言い訳にする。」と。「忙しい忙しい」「バタバタして」「都合がつかなくて、そのうち」と言っている間に、自分の人生を見つめることなく、人生は終わります。本当に忙しい人ほど、そのことを知り、自分を見つめ直す機会を作ります。忙しさをきっかけにするのです。実は忙しくない人ほど、そのことを知らず、自分を見つめ直すなんて時間がなくてできない、ばかばかしいと蔑み、その機会を避ける言い訳にし、逃し続けます。

誰もが忙しい現代です。忙しくない人はいないでしょう。あなたはその忙しさを念仏生活を避ける言い訳にしますか…？それとも、念仏生活を始めるきっかけにしますか…？

今、インターネット上で「お寺の掲示板」がブームです。検索すると、全国のお寺のユニークな言葉、遊び心満点の言葉、ふと考えさせられる言葉など、たくさん出てきます。ご近所のお寺の掲示板にも注目してみてくださいは如何ですか？

PHOTO GALLERY

8月10日
ようせんじ 夏のこども会

8月1日、5日 盆参、新盆会



大勢の方がお参りして下さいました！！
1日、麓組の皆さん、5日、横曽根・大戸組の皆さん、お手伝いありがとうございました。男性の方も是非お手伝いを！会場作りや重い物の片付け等、仕事はいろいろあります。



まずはみんなの手を合わせようね！



今年の夏は一度きり！
お寺で楽しい夏の思い出、できたかな？



お母さんたちはおしゃべりタイム！？



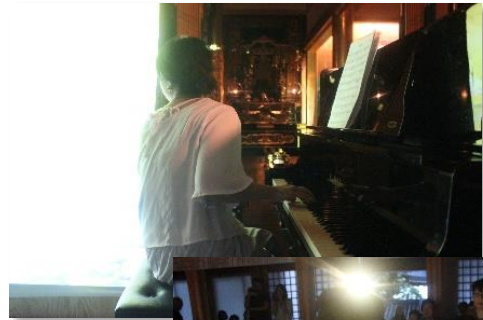
8月28日 お講 (28日講)



皆さんと一緒に出勤、そして法話。住職は養泉寺にある聖徳太子さまの御像についてお話しました。
お斎は夏野菜の精進カレーライス！！

9月8日 養泉寺コンサート 2018

ハーモニカ奏者の倉井夏樹をはじめ、ピアニストのはらかなこさんをお迎えし、さらに画家の近藤康平さんによるライブペインティングとのコラボレーション！！
オープニングアクトの小越康弘の演奏も含め、誰もが初めて見るであろう、素晴らしい夜でした！！



9月23日 秋彼岸会



三条市の星野さん
がご夫婦で帰敬式
を受けられました。
おめでとうございます！！

9月23日
猿八座 養泉寺公演



長岡市では初となる、猿八座による人形浄瑠璃の公演が行われ、圧巻のパフォーマンスに酔いしれました。

10月19日、11月10日
養泉寺 おそうじ隊



親子で、お一人で、
本当に助かりました。四名の方々、
ありがとうございました！

10月27日、28日 報恩講



御講師の佐々木恵一郎さん。柏崎、行通寺さまの御住職です。時折笑いも交えながらの、ダイナミックなお話でした！



一年で一番大切な行事です。
一緒にまた新たな一年を歩んでいきましょう！

1月17日 養泉寺コンサート
30th Anniversary Special "Caravan"



養泉寺コンサートの30周年を祝い、歌手の Caravan さんと倉井夏樹によるスペシャルライブを行いました。

1月28日 おあさじ会



親鸞さまの祥月御命日に、ご一緒に朝のお勤めをしました。

12月31日 除夜の鐘

108回ついで
新しい年へ！



1月5日 年頭



今年も皆で盛り立てましょう！！
乾杯！！



1月28日 初お講



お楽しみ会では、グランドゴルフにカラオケに盛り上がりました！



教えて！！ Q&A コーナー

この半年で、ご門徒さんから受けた疑問や質問にお答えします。
今回は、仏事の日程を決める時によくいただく疑問からです！！

Q 法事は命日よりも前につとめた方がいいんですよね？

A 法事は、「御命日よりも前につとめた方がいい」といわれることがあります。それは言い方を変えれば、「御命日よりも後になるとよくない」と思われているということでしょう。

浄土真宗の門徒はお念仏ばかりしていて「門徒物知らず」だとからかわれることがあります。しかし、それは全くの誤解です。この言葉は元々、「門徒物忌み知らず」といい、「真宗門徒は日や方角の良し悪しや、様々な迷信を信仰のよりどころとはしない」ということを表す言葉です。そのことから、法事は御命日よりも前でなければならぬとか、後になってはいけないということは一切ありません。前でも後でも結構です。ご家族やご親戚、お寺のご住職と相談しながら、最も適当な日程を決めていただければよいのです。それよりも、むしろ大切なことは、ここで「いい」とか「よくない」とかということが、「自分の身に悪いことが起きてほしくない、いいことが起きてほしい」という、まさに物を忌む気持ちではないか、と気付けるかどうかです。そういう気持ちは誰しもが持つものですが、決して信仰のよりどころにはならないことを知る眼を持つことが、真宗門徒に求められる歩みです。

Q 友引に葬儀を出してはいけないんですよね？

A 友引は、六曜（先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口）という中国の時刻、日の吉凶占いが室町時代に日本へ伝わったものです。それが日本独自の形や解釈になって今に至っています。

友引の日は、「友を引く、道連れにする」という意味合いが後付けされ、葬儀執行の日としては避けられることが多く、また斎場も休みになることが多いため、葬儀は少ないです。しかし、決して友引に葬儀を出してはいけないということはありません。意味合いは後付けですし、上の質問でも分かるように「門徒物忌み知らず」ですし、そもそも六曜は仏教とは関係ありません。日に良いも悪いもありません。自分の都合で「良い」と「悪い」とを分けて生きている私たちがいるだけです。

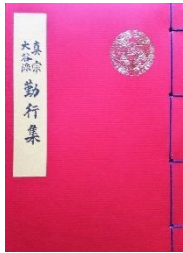
仏事のいろんな疑問について書いてある冊子「仏事ひとくちメモ」。本堂に置いてありますのでご自由にお取り下さい。大好評です！！



お寺の裏側 —URATERA—

もっと知ってほしいお寺の情報や、知っているようで知らない仏事の豆知識を紹介します。今回は、真宗大谷派勤行集（赤本）について！！

真宗大谷派のお参りに欠かせないのが、「真宗大谷派勤行集」（通称：赤本）です。お寺にも常にたくさん用意してありますし、購入も出来ます。仏教徒として、また真宗大谷派門徒としての、一生を貫く大切な本です。法話の時には手引きにし、お勤めの時には一緒に声を出して、どんどん使ってください。



勤行集が赤い理由・・・

1474（文明6）年、本願寺8代目門主、蓮如上人が越前吉崎の御坊にいらした時、火災があり、御坊も羅災しました。蓮如上人は、手元のお聖教を何とか持ち出そうとしましたが、親鸞聖人の『教行信証』6巻のうちの「証巻」を持ち出すことができませんでした。それを聞いた蓮如上人のお弟子さん、本向坊了顕は、「取ってきます」と火の中に飛び込みます。了顕は、やっとの思いで「証巻」を見つけますが、火が廻り、とても引き返せるような状態ではありませんでした。「このままでは命もろともこのお聖教が燃えてしまう」と悟った了顕は、その場に座ると自分の腹を切り裂き、自分の腹の奥に風呂敷で包んだ「証巻」を挿め入れ、真っ赤に染まったそのお聖教を抱く様にして守り続けました。ようやく火が収まり、焼け跡から了顕の御遺体が見つかりました。そして、抱えるようにした腹の中から、風呂敷に包まれ、焼けることなく守られた「証巻」が出てきたのです。

・・・この話が事実である証拠はありません。しかしそれよりも、語り継がれることで、現在まで伝わってきていることの尊さを私たちは知るべきです。赤本の赤は、血の赤です。先達が命を懸けて守り、伝えてきたという意味が、この赤には込められているのです。

赤本は、直に床に置かないことが大切な作法です。時折、新聞や雑誌のように床に直に置いたり、投げるように扱ったりする方をお見掛けしますが、見直すべき扱い方です。置く時は机の上に置くか、床の場合は、下にハンカチを敷くなどし、また、座っている時には膝の上に置くなどし、丁寧に扱います。



お子さん用勤行集（あかほんくん）もあります。初参式を受けた方、有縁の方に差し上げています。



みんなでコラム－武部智美－

初めまして。寺泊磯町に住んでいる武部智美と申します。43歳です。今は休職していますが、歯科技工士の仕事をしています。昨年12月に当院より「寺報のコラムを書いてほしい」と、有難い機会を頂きました。



代々我が家は、養泉寺様と深いご縁があります。現在の鐘つき堂は、宮大工だった高祖父が建て、同じく宮大工だった祖父が修繕したものです。亡き祖母もお寺を大切に想い、お寺の行事や旅行に積極的に参加し、月命日にはお寺様と一緒に勤めをし、去年の13回忌では「おばあちゃんの声が12年経った今でも思い出される」と住職がお話し下さり、心が温かくなりました。私も思い出すと、子供の頃お寺の池でザリガニ釣りをしたり、町で会えば気さくに声を掛けていただいたり、住職の奥様からは「お菓子作りに」と『寺泊の裏山のクルミ』を分けて頂いたり、嬉しいつながりがあります。

住職が「お寺はもう一つの家族」、当院が「心のよりどころとなるお寺を目指しています」というように、私も同じく思っています。数年前、大切な従兄弟が病気になり、何か力になるものと思い、お寺様に「従兄弟へ言葉を下さい」とお願いしたことがありました。その時住職に「私が言葉を言うのではなく智美さんが従兄弟を想うことが大事」と言葉を掛けてもらいました。私の話を聞いて下さった住職と奥様にはとても感謝しています。先にお話ししましたが、私は歯科技工士をしています。型をとった物を基に差し歯や義歯を作っています。歯は体の中でも生きていく上で重要です。美味しく食事ができるのは勿論ですが、噛む事により認知症予防改善、癌や生活習慣病の予防・免疫力アップなどの効果があります。患者さん一人一人に合った技工物を作り喜んでもらい心も体も健康にできるこの仕事は、私の天職であり適職と思っています。何よりこの仕事を通じ、沢山の出逢いに恵まれて、今の自分があると思っています。春の職場復帰を目指して、1日1日を大切に、ワクワクしながら過ごしていきたいと思っています。



寺族の声－編集後記－

私は寺泊に来て37年になります。山が好きで、できれば山の近くに、と思っていたのが、ご縁があったのは海！風の強さには閉口しました。でも、見渡せば弥彦山、海の向こうに佐渡ヶ島、そして夕日。何と贅沢な景色でしょう！今では「住めば都」となりました。私は秋になると、裏山でクルミを拾ってきます。私の前世はリスではないかと思うくらいクルミが大好き。それを、皮を取って、洗って、干して、炒って、割って、ほじって、集めて煮て食べます。気が遠くなるような作業ですが、私にはストレス解消です。なぜこんなに好きかというと、10年ほど前、子育ても一段落した頃、裏山を歩いていると、沢山のクルミ、クルミ…。強風の後だったんでしょね。とたんに、こどもの頃の記憶が鮮明に蘇ってきました。祖母や母と火鉢を囲んで、クルミを割った光景。幸せな時間。年夜のクルミなますの美味

しかったこと！見上げればクルミの木はそこかしこにあるのです。それから毎年クルミと格闘！それをとっておいて、お齋で五目寿司に入れたり、和え物の衣にしたり、甘く煮てご飯のおともにしたり、おつまみにも最高！クルミを見ると嬉しくて。可笑しいですね。お齋といえば、皆さんに美味しいと言ってもらえるのが、ごま豆腐。試行錯誤の末に今一品になりました。機会があったら是非味わってみて下さい。今のところ、御門徒の皆さんのご協力のお陰で、手作りのお齋をお出しすることが出来ます。本当にありがとうございます。これからも、美味しいと言ってもらえる精進料理を、出来る限りご提供していきたいと思っています。クルミを使った一品も考えますよ！どうぞよろしくお祈りします。

文章：坊守（倉井恭子）



ちょこっと、ひとこと！！

養泉寺の寺院墓地の片隅に、ゴミを置いて帰られる方が絶えません。荷物を少なくして帰りたいお気持ちも分かりますが、墓地は皆さんが利用する公共の場です。気持ちよくお参りが出来るよう、ゴミは各自の責任でお持ち帰り下さい。マナーを守り、気持ちよくお参りできる墓地になるよう、ご協力をお願いいたします。また、お墓参りの際には本堂に入り、御本尊さまにもお参り下さい。それが正式な「墓参り」です。

○置いていってよいもの(土に還るもの)

- ・花(造花は含まない)

○お参りの後、おさがりとしていただくもの

- ・缶ジュース、ワンカップ、菓子などのお供物
- ※すぐにおさがりとして持ち帰って美味しくいただくか、後日責任をもって回収し、処分して下さい。
鳥獣被害や異臭の原因となります。

○持ち帰っていただきたいもの(土に還らないもの)

- ・ビニール袋、ビニール紐
- ・ペットボトル、空き缶、空き瓶
- ・花を包むセロファン



ビニール袋

ビニール紐

セロファン

ペットボトル

やむを得ず看板を設置しました。

ヨガ教室、開催中！！ 和気あいあいと楽しくやっています☆

毎月第2・4月曜日 13時15分～1時間程度
詳しくは大矢ひとみ先生まで！！

Tel 090-2980-6293
Web <http://sonomamanohito.blogspot.jp>

こどもといっしょに お寺へいこう！

初参式(初参り)を受けることができます。今まで10名以上のお子さんが受けています。あなたのお子さん、お孫さんもぜひ受けましょう!!

帰敬式を受けましょう

法名をいただき、仏教徒としての歩みを、あらためて始めませんか？今まで、約40名の方が受けておられます。詳しくはお寺まで！！

〇から一緒にお念仏の 教え勉強しませんか？

「推進員になる」という道があります！
推進員って何？受講するとどうなるの？気になった方はお寺まで！

養泉寺のブログ(ホームページ)があります！

行事の案内やレポートから、日常の中の1ページまで、コンテンツも充実しています。

寺泊養泉寺

全ての連絡先、問合せ、疑問や質問、ご意見ご感想はこちらまで！！

電話 0258-75-2210
ブログ(ホームページ) <https://yosenji.exblog.jp/>
メール kurai.kouya5108@gmail.com
〒940-2502 新潟県長岡市寺泊一里塚3883番地

LINE 友だち追加



養泉寺 行事カレンダー (3月～9月)

春彼岸会 (お中日)

3月21日 (木祝)

<日程>
午前10時30分～午後1時頃まで

<法話>
住職、当院

<詳細>
お中日のみお斎あり。彼岸入 (18日) と彼岸明 (24日) は、10時半よりお勤めのみ。

法中講

6月16日 (日)

<日程>
午前10時～午後1時頃まで

<法話>
法中御寺院さま

<詳細>
法中 (お寺のグループ) の皆さんによる法話をお聞きします。一味違ったお斎あり。

法友交流会 (生ビールの会)

7月5日 (金)

<日程>
午後6時～午後8時30分頃まで

<法話>
藤枝 友子 師 (三条市 山香寺 住職)

<詳細>
お勤めと法話の後、生ビールで乾杯します。飲めない方やお子さんも大歓迎。申込み制です。

盆参、新盆会

8月1日 (木)、4日 (日)

<日程>
午前10時30分～午後1時頃まで

<法話>
住職、当院

ようせんじ 夏のこども会

8月9日 (金)

※日程や内容は検討中です (後日お寺にチラシを置きます)。

秋彼岸会 (お中日)

9月23日 (月祝)

<日程>
午前10時30分～午後1時頃まで

<法話>
住職、当院

<詳細>
お中日のみお斎あり。彼岸入 (20日) と彼岸明 (26日) は、10時半よりお勤めのみ。

お講 (28日講)

6月、7月、8月、各28日

<日程>
午前10時30分～午後1時頃まで

<法話>
住職、当院